

湯のまち「べっぴ」

男女 共同参画

あすてっぴ

～誰もが自分らしく
輝くために～

●● 第2回あす・べっぴフェスタ ●●

11月25日(土) 第2回あす・べっぴフェスタを開催しました。大人も子どもも笑顔があふれる一日となりました。「有意義な一日だった」「久しぶりに大変たのしく過ごせた」との感想もいただきました。多くのご参加ありがとうございました!

べっぴんも
参加したよ!



人間の魅力と幸福人生
東洋大学名誉教授 八巻節夫さんによる講演。幸福な人生をつくるために、「自分自身が常に楽しい・嬉しい・感謝の気持ちを持つこと」を学びました。



落語
盲目の噺屋ザトーさんによる大分弁の落語。会場内が笑いの渦に包まれました。



パープルリボンツリー
フェスタ参加者にパープルリボンを飾っていただきました。



子ども将棋教室
小学校4年生以上の子どもたちが将棋を学びました。みんな真剣な表情で学んでいました。



女性に対する暴力をなくす運動
男女共同参画協議会の方々にご協力いただき、あす・べっぴ前で啓発活動を行いました。



おりがみ教室
猪俣勝宏さんによるおりがみ教室。お正月に飾れる鶴や亀などをおしえていただきました。

●● 企業や団体等に向けた啓発事業（男女共同参画基礎講座）を開催しました ●●

「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を進めよう!」 講師：社会保険労務士 篠原 丈司さん

医療法人博慈会
内田病院様
平成29年11月22日(水)



恵良寧税理士事務所様
平成30年1月15日(月)

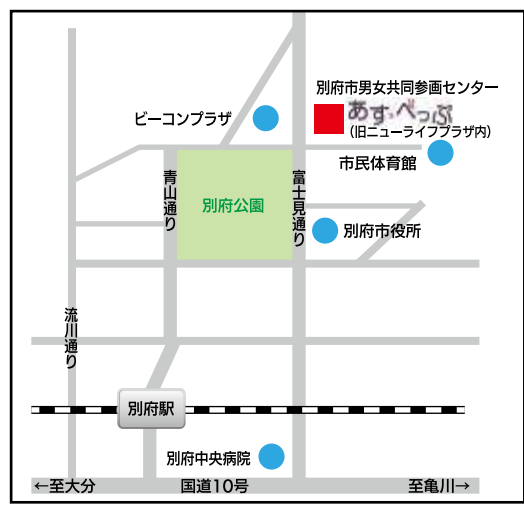


今後も企業・団体に向けた啓発活動を行う予定です。男女共同参画に関する研修をお考えの企業・団体の方はお問合せください。

ひとりで悩まないで
相談してみませんか?

★ 女性のための電話・面接相談

面接は要予約（相談料無料）
男女共同参画センター「あす・べっぴ」
（ビーコンプラザ前）
毎週火～土曜日 午前9時～午後5時
☎ 0977-21-7820



【編集後記】あす・べっぴの2017年度の活動を拝見し、どれもが出発点は「男女が共に」というテーマでありながら、男性にとっても女性にとっても「いかに働くか」という課題が日常生活と表裏一体であり、それを考えることがついに「いかに生きるか」という深い問題にまで至るということを知りました。また別府市が行った企業アンケートの結果も大変興味深いもので、次回、もっと多くの企業が回答してくだされればよいと思います。
市民編集委員 足澤 一成 屋田 律子

Contents

★ きらり！輝く人みつけた

今回は、働きやすい職場づくりに前向きに取り組む企業、別府市古市町の(有)エイコー印刷様にお伺いしました。

男女共同参画社会づくりのアンケート調査 ……02

★ 2017べっぴ男女共同参画フォーラム ……03

★ 2017あす・べっぴフェスタ

あす・べっぴからのお知らせ ……04



あすてっぴの愛称…「あす」は明日と、英語で私たちを表す us を意味し、「ステップ」は英語で足取りや歩調、そして段階を表す step、また、「び」は別府の「府」です。私たちの明日(未来)の、男女共同参画のまち別府を、性別にとらわれず、自分らしく自分の足取りで生きていこうという気持ちを込めています。

発行：別府市自治振興課男女共同企画推進室 〒874-0903 別府市大字別府字野口原3030番地16
編集：あすてっぴ市民編集委員 TEL 0977-21-8289 FAX 0977-21-9042 E-メール asubepu@city.beppu.lg.jp
男女共同参画の推進について、ご意見・ご質問をお寄せください。

★きらり！輝く人みーつけた★

編集部 御社についてご紹介ください。
安部 社長を含め社員21名（男性13名、女性9名）です。主にシールやステッカーなどの印刷をしています。他の企業からの受託生産で、県内・全国・海外規模で知られる製品のラベルやシールも、ここで印刷しています。工場を見えますか？

編集部 はい、ぜひお願いします。
安部 印刷機はふつう1人が1種類1台の機械しか動かさないのですが、弊社では各社員がどの機械でも扱える技術をもっています。実は今日は有事の事態で印刷機が1台動いていません。



大きな機械を複数設置できる立地条件と、高い技術力を活かして積極的に他県への営業も進めている。

会社は家族 子どもから尊敬される生き方をしたい

編集部 有事とは？
安部 社員が1名、子どもが熱を出して早退しました。
編集部 それは「有事」なんですね。
安部 もちろんそうです。家族との時間は大切です。弊社は平常業務でも基本残業なしです。昨年度の月平均残業時間は3時間でした。

社員にはやるべき仕事をやり終えて定時に帰宅し、子どもから尊敬される存在であってほしいと思っています。もし欠員が出ても、どの工程も互いにカバーできますし、業務内容を現場の社員が合議し、確認しています。

編集部 上からの命令で動くわけではない。
安部 この人しかできないという仕事は極限までなくしています。営業も残業なしでできる最大限を分かって受注します。
働きやすい環境作りは社員のやる気を育て労働生産性を上げてくれる

編集部 それは理想的な職場ですね。
安部 どうでしょう。けっこう大変だと思います。時間内にする仕事は決まっていますから、かなりの集中力が必要です。時間外で働くにしても、3時間残業する集中力は残っていないかも。また、残業で1台機械が動いても照明や空調は必要ですし、コストのロスが大きくなってしまいます。

編集部 合理的な事業形態を追求した結果、定時帰宅が一番よいと。
安部 そうです。ですから機械掃除も新人が手間取ればほかの社員も一緒にしたり。来客の方に機械の故障かと勘違いされたこともあります。
編集部 社員に定時就業の意識が浸透していますね。
安部 いろいろな働き方があると思いますが、弊社ではそうですね。



有限会社エイコー印刷 専務取締役 安部秀徳さん

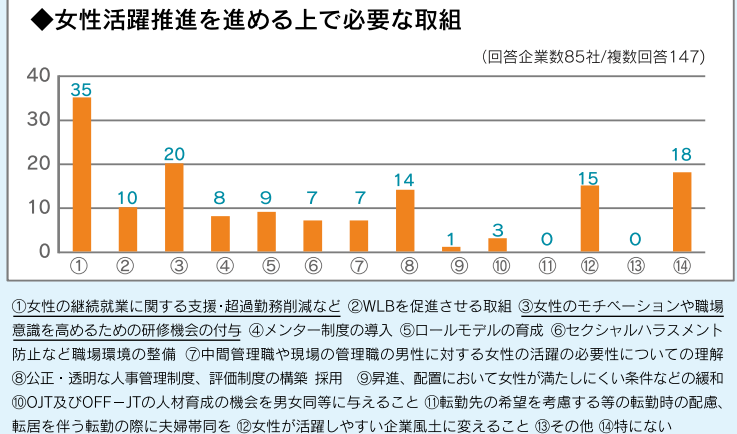
いつでも職場に戻って来られるよう チームワークで推進していく

編集部 それは小さい会社だからできるのですか。
安部 そうは思いません。弊社も社員は増えていて来年も新人を採用します。大きな会社になるつもりはありませんが、大企業でも社員がその仕事とその会社が好きなら、それは、その企業の理念が好きだということではないでしょうか。
編集部 ずっとここで働きたいと思うでしょうね。
安部 育児や出産で一旦会社を離れないといけなくても、その社員さんには帰ってきてほしいので、帰って来られる場所を用意できるような体制をその都度、作っています。うちの工程全部を熟知している人を手放したくないですから。



【取材を終えて】身近で目にするシールにも高度な技術が必要で、コンピューター制御の最新機械も人間による100分の1ミリ単位の調整が必要。技術の裏打ちと経営の合理性、定時帰宅の形態が、どれが優先でどれかを妥協するのでもなく同時に成立している。それを当たり前のこととして淡々とお話しくださる安部専務。別府にこのような会社があることに驚きました。

【平成29年別府市男女共同参画社会づくりのための企業アンケート調査】
 別府市では平成29年2月に男女共同参画社会づくりのための企業向けアンケート調査を行いました。「女性の活躍推進を進める上での取組について、どのようなことを必要と考えますか」との問いに、①女性の継続就業（育児休業からの職場復帰など）に関する支援、③女性のモチベーション（やる気・熱意）や職場意識を高めるための研修の付与、⑫女性が活躍しやすい企業風土に変えることという回答が多くみられました。働く女性がその希望に応じ能力を十分に発揮するためには、職場の環境・制度の整備が必要です。男女がともに人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できる社会をめざし、別府市では今後も様々な啓発活動を行っていく予定です。



2017べっぴん男女共同参画フォーラム開催 9月23日(土)別府市公会堂

～「あなたが輝く働き方 ワーク・ライフバランス」 (株)WLB代表取締役社長 小室淑恵さん～

日本は！
 先進国中、最も労働時間が多く、生み出す付加価値が最も低い

しかも今！
人口オーナス期
 若い世代が少なく、人口構造自体の重荷（1960頃～90半ばは人口ボーナス期、多くの働き手が少ない高齢者を支えた）

●WLBとWFBの違い

業績にはプラス	ワーク・ライフバランス 育児・介護・自己研鑽・看護・運動等 インプット・多様性が付加価値を生み出す
業績にはマイナス	ワーク・ファミリーバランス 育児・介護などばかりに目が向いている 家庭のある人と独身者の対立構造を作る

●人口オーナス期に経済発展しやすい働き方
 なるべく男女ともはたらく
 頭脳労働の比率が高い、男女とも等しく優秀な働き手

なるべく男女とも短時間で働く
 残業コストの低減・収益増加、優秀な人材流出も減る

！ 第一子の子育てに男性が積極的に参加した家庭ほど、第二子以降の出生率が高いという調査結果が。少子化対策・女性活躍に有効なのは

【男性の働き方改革】

- 今後求められるマネジメントとは？
- ・時間制約のない部下はもういない。職場全体でその人にしかできない仕事を減らす。
 - ・その資料は本当に必要か？
 - ・時間や場所に柔軟性を。対面にこだわらない。
 - ・自身の指示の長さ、ITスキルの低さで部下の作業時間を取らない。
 - ・自身のワーク・ライフバランスを実践。自己研鑽を。

ワークとライフの相乗効果

ライフが充実すれば、人脈・アイデア・スキルが得られて結果的にワークの質と効率が高まります。ワーク・ライフバランスに積極的に取り組み、充実した組織・人生を作っていきましょう！

受講者アンケート

夫は家にお金を入れることが大切と聞いていましたが、育児に参加することの方が大切であると感じました。子どもも妻も傷つけない働き方をしようと思います。(30代/男性)

日ごろ私が悩み困っていたことにズバズバと答えを出していただいた印象です。(30代/女性)

育児・介護を行いながら働くには、働き方や社員一人ひとりの意識改革が必要だと改めて感じた。難しいと思っていたが、実績を見て不可能ではないことだと思った。(20代/女性)

「全ての人にライフがある」当たり前なのに、言われて初めて気がつきました。子育て中で、自分の働き方、周囲の女性たちの働き方を改めて考えるきっかけになりました。(30代/女性)

ワーク・ライフバランスが何故必要か良くわかったので、その実現に向けて少しでも行動を起こしていく。(40代/男性)